

ひたち野

茨城県内の経済・ 金融情勢について

財務省 関東財務局 水戸財務事務所長 多田 桂



日頃、財務局、財務事務所の財政、金融、国有財産業務等につきまして、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年7月に水戸財務事務所長を拝命しましたが、このたび、貴会機関誌に寄稿の機会を頂きましたので、ご挨拶を兼ね標記のことについて紹介させていただきます。

我が国経済は、一昨年末頃から景気後退局面に入りましたが、昨年9月のリーマンショック以降急速な悪化へと転じました。現在においても依然厳しい状況にありますが、数次にわたる経済対策の効果等から持ち直しの動きがみられております。

県内経済についても、住宅建設や設備投資が前年を下回っているほか、雇用情勢が厳しさを増しておりますが、生産活動や、エコカー減税・補助、エコポイントの効果等により個人消費が持ち直しているなど、全国同様、厳しい状況にあるものの一部に持ち直しの動きがみられております。経営者の方々にご意見を伺っていても厳しい中にも明るいお顔を見せて頂ける回数が増えたように感じます。

県内景気の先行きについては、在庫調整の一層の進展や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善等により、更なる持ち直しに向かうことを期待しているところです。

他方、金融分野について概観してみますと、昨年秋以降の世界的な金融危機による株式市況の悪化等により、平成21年3月期の茨城県内の地域金融機関の決算にも、全国同様、有価証券関係の処理費用の増加など影響が見られています。

このような状況を踏まえ、金融庁としても金融機能強化法の改正と活用の促進、貸出条件緩和が円滑に行われるための措置、銀行等の自己資本比率規制の一部弾力化、金融円滑化に向けた特別ヒアリング・集中検査の実施、緊急保証制度の開始・拡充など、関係省庁等との連携も含め、様々な措置を講じてきたところです。

当局としましても、中小企業等に対する円滑な資金供給が地域金融機関にとって最も重要な役割の一つであると認識しており、これまで講じられてきた措置を踏まえ、適切かつ積極的な金融仲介機能の一層の発揮を各金融機関に期待しております。

着任以来数ヶ月が経過しましたが、この間多くの方々から貴重なご意見を拝聴することが出来ました。今後も関係各方面の皆様方と意見交換させて頂き、頂いたご意見を本局を通じて財務省、金融庁へお届けしたいと思っております。引き続きよろしくお願い致します。